



学長挨拶

札幌保健医療大学 学長
稲葉 佳江

平成29年3月14日、札幌保健医療大学第1期生の卒業証書・学位記授与式を挙行し、多くの保護者、関係者のご参列するなか無事終えることができました。またこれまでの4年間、さまざまな形でご支援、ご指導頂きました関係者の皆さまに改めて感謝申し上げます。

札幌保健医療大学は、平成29年度より看護学部を保健医療学部へ改称し、看護学科と栄養学科を有する大学として再出発します。栄養学科で育成する管理栄養士は、入院患者の医療管理の一貫としての栄養管理、在宅療養者とその家族の食事管理、福祉施設入所者への適切な栄養と食指導など、保健医療分野での活躍が期待されています。本学は、看護師・保健師と管理栄養士が互いの専門性の理解と連携を強化し、将来の地域保健医療に貢献したいと思っています。

過日、保健医療学部として初めての入学式を挙行し、看護学科106名、栄養学科26名が入学し、希望に満ちた大学生活をスタートさせています。

本学では、教育理念「人間力教育を根幹とした医療人の育成」を掲げ、学生の一人一人が人間力を如何なく発揮し、人間力のある医療人として育てほしいと願い、教育実践しています。本学は、理念教育のために保護者の皆さまとの本学教育方針の共有、保護者のニーズに適った情報の提供、さらに学生中心の密な連携を図っていくことが重要であると

考えています。その機会が入学時の保護者説明会と後援会主催の保護者懇談会です。本学は看護師・保健師、管理栄養士の国家試験受験資格を付与する責任上、学生の学習面などに何らかの課題や気付きのある場合には、学担教員からの面談の実施、必要に応じて保護者に連絡・報告し、保護者と連携し学生対応していく仕組みとなっています。特に高学年に進むと、国家試験準備が本格的になり、学生指導も綿密になります。保護者懇談会は学業や就職に関する情報や大学生活情報、個別懇談により、保護者と共同で学生に応じた支援をする機会となります。大学は全力で学生を支援しますが、保護者の皆さまとの協力体制があつての合格の道です。できるだけ多くの方々にご参加頂きたいと思います。

さて、昨年度の図書館の増築、看護学科実習室・ゼミ室関係の改修、栄養学科棟の新築などを終え、さらに今年4月4日からキャンパス内セイコーマートが開店するなど、校舎拡充が整ったところです。保護者懇談会への参加の折にはぜひ、キャンパス内を見学して頂きたいと思います。

今年度も、全学年を対象にした保護者懇談会、2年生のグローアップ・セレモニーを計画しております。日程が確定次第、保護者の皆さまにご案内させていただきます。

今後も、札幌保健医療大学へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

学長挨拶	1
1期生の卒業証書・学位記授与式	2
活動紹介	3
学生支援について	5
学内行事報告	6
クラブ活動報告	7
国家試験結果・就職状況・入試結果報告	8



本学として第1回目となる卒業証書・学位記授与式が平成29年3月14日(火)、ホテル札幌ガーデンパレスにて執り行われました。

卒業生97名一人ひとりに学長から卒業証書・学位記が授与されたのち、学長式辞、理事長祝辞につづき、後援会会長 神谷様から祝辞をいただきました。

卒業生を代表して、了輪在夏(りょうわ あるか)さんが「今後、豊かな人間性を育み、患者様の気持ちに寄り添い、社会に貢献できる医療人を目指します。」と決意を述べました。

また、授与式後には学生実行委員会による第1回卒業記念祝賀会も開催しております。

皆さまからの盛大な祝福を受けるなか、友や恩師との別れを惜しみつつ、学び舎をあとに、それぞれ新たな一歩を踏み出していきました。



1期生の 卒業証書・ 学位記授与式



卒業を迎えるにあたっての思い



佐々木 萌

卒業を迎えるにあたり、無事に卒業できることの安堵感と同時に、先生方や友人たちとの別れを寂しく感じています。緊張しながら入学式の会場に向かい、友人たちと初めて会った日のことが昨日のこのようです。大学生活の4年間は様々な思い出がありますが、振り返ると一瞬であったように感じます。1年生の頃、ナース服を初めて着た時に看護学生なのだという実感が湧き、演習では看護技術の難しさを感じました。初めての演習では、環境や患者さんとの関わりに戸惑い、苦戦したことを覚えています。先生方の助言や友人たちの存在に励まされ、やり遂げることができました。国家試験の勉強は大変ではありましたが、友人たちの姿を見て、自分も頑張ろうという思いが湧き、一緒に勉強することも時に楽しく感じられました。大学での出会いに感謝し、学んだことを今後も大切にしていきたいです。



白澤 和貴

4年前、右も左もわからない私は札幌保健医療大学に入学し、とうとう卒業が目前に差し迫っています。あっという間に過ぎた4年間でしたが、大変内容が濃い大学生活を送ることができました。正直、私の大学生活はいいこと“49”、嫌なこと“51”の比率であり、楽しいことばかりではなく、辛いこともたくさん経験しました。看護師の道を諦めようと思ったこともありましたが、しかし、そんな辛いときには、親身になって話を聞いてくれた先生、励ましてくれた同じ志をもつ仲間、未熟な私でも必要としてくれた患者さん、そして寛大な心で支えてくれた母親の存在があったからこそ、卒業まで漕ぎつけることができました。

卒業することで、ようやく看護師としてのスタート地点に立つことができます。日々、出会う中でのかげがえのない繋がりを大切にして、看護師として精進していきたいです。



吉田 彩乃

本学で過ごした4年間は、課題や実習で辛い日々もありましたが、それ以上に友人や先生方など、周囲の方々に恵まれ、充実した日々を送ることができました。どのような状況においても、諦めずに周りとの励まし合いながら全実習を終えた達成感は、忘れることができません。この大学に入学し、看護の奥深さ、看護が人々に与える力など、看護について多面から学び、実習では看護の本質に触れながら考えることができました。

私は、4年間で学んだ看護を踏まえ、将来は助産師として活躍したいと考えています。そのため、専門職大学院に進学することを決意しました。進学先では、本学で培った知識や技術を活かし、何事にも積極的に学んでいきたいです。そして、女性の生涯を支える専門職として、親身に携わる助産師になりたいと考えています。



活動紹介



入学式

平成29年4月3日（月）、札幌市中央区の「かでの2.7ホール（北海道立道民活動センター）」において、平成29年度札幌保健医療大学入学式を挙行いたしました。「保健医療学部」となった今年度は看護学科106名、栄養学科26名、あわせて132名が入学いたしました。入学式後は、保護者説明会と札幌保健医療大学講演会の定期総会を開催し、多数の保護者の皆様にご出席いただきました。



新入生歓迎会

平成29年4月6日（木）、学友会主催の新入生歓迎会を開催しました。入学して間もない新入生に向けて、在学生から大学生活をより充実したものにするためのアドバイスやサークル紹介などを行いました。

今年度からは栄養学科の学生も加わって昨年以上に賑やかな会となり、先輩からの積極的な声掛けで学科の垣根を越えた盛んな交流がみられました。



2年次生対象の「グローアップ・セレモニー」を開催。

11月下旬から開始される2週間の看護基礎実習Ⅱ（病院実習）に先立ち、平成28年11月19日（土）に2年次生と保護者を対象とした「グローアップ・セレモニー（Grow-up Ceremony）」を開催しました。はじめて患者さんを受け持つ看護基礎実習Ⅱを前に、学生一人ひとりが、自覚を新たに、看護職への学びの意思を確認する目的として開催したものです。

今年度は、日本赤十字大学名誉教授として長年にわたり基礎教育および卒後教育にあたり、看護実践力の向上に貢献されてきた川嶋みどり先生をお招きし、ご講演をいただきました。

川嶋先生は、ご自身のエピソードを通して、看護の魅力、看護師に求められる使命

や役割をお話しくださいました。学生からは、「看護の可能性には限界がないことがわかった」「人と生まれ人に尽くすこの道を選んだあなた」という川嶋先生の言葉に気持ちを新たにできた」「患者さんの気持ちに寄り添っていききたい」などの感想が寄せられました。

また、講演終了後に全学年の保護者を対象とした「平成28年度保護者懇談会（後援会主催）」を開催しました。道内各地より60組76名の保護者の方にご参加いただき、学年担任教員と保護者間において個別懇談を実施。学生一人ひとりの学習や生活状況などを報告し、情報交換を行いました。今年度も開催しますので、是非ご参加ください。





新施設、続々開設！



01

栄養学科新校舎完成

平成29年4月、
栄養学科の新校舎が完成。

平成29年4月の栄養学科新設に伴い、新校舎の5号館が平成29年1月に完成しました。主調理室・実習食堂、調理実習室、理化学実験室などの最新設備を整え、各階にはラウンジを設置。きれいな環境の中で、学ぶことができるのが魅力です。

02

看護実習室のリニューアル

平成28年8月、
看護学科の実習室をリニューアル！

平成28年8月に看護学科の4つの実習室（基礎・成人看護実習室、母性・小児看護実習室、高齢者看護実習室、在宅看護実習室）を改修・移転新設し、リニューアルしました。特に基礎・成人看護実習室は、北海道内の看護大学のなかでも有数の広さを誇り、新しい広々とした環境のなかで演習技術を習得できます。



03

セコマ

平成29年4月、
新しい学生食堂兼売店がオープン

大学内にセコマがオープンしました。飲料やお弁当などを充実させており、作り立ての惣菜やお弁当を味わえるホットシェフもあります。学生の満足度を高められるよう、福利厚生面を充実させることに努めています。



平成28年9月、図書館がリニューアルオープンしました

約一ヶ月の増改修工事を経て、従来よりさらに機能性と安全性に配慮した図書館になりました。

01

64席だった閲覧席が
108席になりました。

心地よい学習空間として利用できるカウンター型座席10席、レイアウトを変えて利用できる可動式の椅子と机18席、新聞など大型資料を広げてゆっくりと閲覧できるテーブル席18席を配置しました。

02

閲覧席に電源コンセント、
館内にWi-Fiを設置しました。

電源コンセントとWi-Fiの設置により、パソコンを持ち込んでの学習が便利になりました。Wi-Fiに接続すれば、学内でのみ利用できる文献検索データベースにもアクセス可能です。

03

カバン等の持ち込みが
可能になりました。

従来、学習に必要な筆記用具等の持ち込みのみ可能でしたが、入退館ゲートの設置によりカバン等を持ったまま利用できるようになりました。

04

すべての書架を耐震
対応型に変更しました。

従来、一部の書架のみ耐震対応型でしたが、リニューアル後は全ての書架が耐震対応型になりました。

この他、図書館に隣接してグループ閲覧室を設置し、今まで対応できなかった複数人数での視聴覚資料の閲覧やグループ学習に利用してもらえるスペースをつくりました。



保健師教育について

本学では、定員100名のうち20名が選択制で保健師国家試験受験資格を取得することができます。保健師をめざす学生は、3年次前期に選抜があります。選抜基準は「保健師への興味・関心及び学習意欲が認められるこ

と」、「2年次までに必修科目のすべての単位を修得し、2年次までの専門科目（必修）の全科目の成績評価においてGPAが2.5以上であること」などです。選抜された学生は、公衆衛生看護学に関する科目および指定する

科目について学びます。それらの科目の単位を修得した人は、保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

学生支援について

本学は、学生一人ひとりが4年間の学習の積み重ねにより自己の目標を明確にして生涯学習し続ける専門職業人の育成を目指しています。キャリア支援は、専門職業人として歩み出す関門である「国家試験対策支援」、そして卒業後のキャリア形成としての「進学・就職支援」を行っています。

看護学科

看護学科では、学年進行に対応した活動を計画し実施しています。

学年	国家試験対策支援	進学・就職活動支援
1年次	入学時ガイダンスでは看護師、保健師、助産師の看護職を目指して入学した学生に国家試験の概要をわかりやすく説明します。 学生は、日々の科目を確実に修得する意義を理解します。	11月には看護師、保健師、助産師の先輩を講師として招き、実際の仕事に関する講話を聴きます。学生は、それぞれの職種についての理解を深め、自分の進路を考える参考とします。
2年次	4月のガイダンスでは、「国家試験対策ガイダンス-2年次用-」リーフレットをもとに、2年次の学習の特徴と国家試験について理解を深めます。学生国家試験対策委員会を中心に話し合い、秋には低学年模擬試験に挑戦します。	4月のガイダンスでは、「就職活動ガイダンス-2年次用-」リーフレットをもとに、将来の進路を自分で考え、自分で選択する大切さを理解します。 さらに、進学・就職活動の基本を学びます。
3年次	4月ガイダンスでは、業者による「国家試験ガイダンス」を受講し、秋には模試・補講を体験します。 実習スケジュールに対応した実習の事前学習課題に取り組み、実習での学びが国家試験対策に繋がるように学習します。また、学内にはいつでも利用できる国家試験WEBサービスや10回にわたるDVD聴講講義の環境が整っています。	4月と11月に業者による「就職セミナー」を開催します。1回目は、就職活動に向けての心構えやその第一歩となる実習マナーと身だしなみ等を受講します。2回目は就職事情や就職活動の進め方について受講します。 進学や就職の相談は、担任はもちろんのこと、キャリア支援室常駐の職員にいつでも相談できます。
4年次	本格的な国家試験対策がはじまる4年次では学生4名につき看護課題研究の担当教員が1名ついて丁寧に個別指導します。業者による模試・補講の他に、学内教員による補講を取り入れながら全面的にサポートする環境を整えています。	4月ガイダンス時には「就職活動のてびき」の冊子をもとに就職活動の一連のプロセスをわかりやすく説明します。看護課題研究担当教員、職員、キャリア開発委員が連携して学生の就職活動をサポートします。また、業者による小論文、面接対策講座を開催し安心して就職試験に臨める体制づくりをしています。

栄養学科

国家試験対策支援

管理栄養士国家試験は3月上旬に実施され、3月末に合格発表となります。国家試験合格のためには日々の学習の積み重ねはもちろんのこと、効率的な対策が必要です。

1年次から学習進度に応じた国家試験対策を実施し確実に合格を目指します。

具体的には、1年次では、管理栄養士国家試験の概要や4年間の効率的な勉強法、タイムスケジュール等について指導します。また、1年次は専門科目を学ぶための基礎となる専門基礎科目が配置されています。学生には、1年次に配置された科目の知識を定着させることが国家試験対策に対応した実力をつけることを教示し、専門基礎分野（社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康）の科目を担当する専任教員を中心に、一人ひとりの理解度に応じた指導を継続的に行います。

就職活動支援

自分自身で進路・就職を選択決定できるように情報の収集・伝達をしながら社会人として踏み出せるようにキャリア支援担当教員や学年担任を中心とする専任教員と学務課（就職支援担当）の協力体制のもとでサポートします。

社会的・職業的自立を図るために、1年次から年次毎のプログラムを実施します。

1、2年次では、グループワークを通じて、社会と自分自身との関わりや仕事や職業について考え、働くということの意義を学ぶ機会を設けます。2年次では職業適性テストの実施も計画しています。

3年次では、企業研究・業界研究を通じて管理栄養士の専門職として働くフィールドについて理解を深めます。

管理栄養士の就職先は、病院や医療福祉施設の他、企業、公務員など多岐にわたるため、3年次後半から4年次前半にかけて、公務員試験（地方自治体等栄養士・栄養教諭）志望者向けのガイダンス、一般企業向け就職筆記模擬試験、時事対策講座等を計画しています。

キャリア支援室では、就職試験受験相談や履歴書添削、模擬面接を受けることができます。



1年次対象の「看護職の仕事について」の講演会を開催

平成28年11月8日（火）に1年次生を対象とした「看護職の仕事について」の講演会を開催しました。この講演会は、学生が看護職（看護師、助産師、保健師）のお話を聴き、自身の将来の方向性、就職を選択するための一助とするために、毎年実

施しているものです。講演では、講師の先生にそれぞれの職種を目指した経緯や実体験に基づいたエピソードから各職種の魅力ややりがい、学生時代に考えておきたいことなどをわかりやすくお話していただきました。

出席した学生からは、「自分が将来何をやりたいのか考えるきっかけとなった。調べてみようと思った。」「3職種の仕事内容が明確になった。」「今のうちから計画的に学ぶことが大切だと学んだ、学習意欲がわいてきた。」との感想が寄せられました。



札幌保健医療大学学業成績優秀者給付奨学金について

本学では、学力、人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生を選考し、学生の経済的負担の軽減と看護専門職の育成を目的とした授業料減免型の給付制奨学金を支給

します。2～4年次生を対象として人数は若干名です。該当者は、後期に授業料の一部が免除となります。卒業後においても返還の義務はありません。学業成績優秀者の

決定は6月を予定しており、平成28年度は2～4年次の各2名に給付されました。

祭 大学祭について

平成28年10月8日（土）、9日（日）に第3回大学祭を開催しました。

「仕合せ～人と人のつながり～」というテーマのもと、2日間にわたってさまざまな催しものを実施。模擬店では、焼きそばやアメリカンドッグなどに加えて、恵庭市の余湖農園さんの野菜も販売されました。イベントでは、看護技術向上研究会サークルによる血圧測定などの看護体験演習、軽音サークルによるバンド演奏、宝探しやお楽しみ抽選会などが開催されました。



図書館ではオープンライブラリーを実施し子どもに絵本の読み聞かせを行うなど、地域の方たちにも楽しんでいただきました。

学友会が主体となって運営し今年で3回目を迎えましたが、会議や準備も昨年までより効率よく行えるようになるなど、学生にとって大きな学びの場にもなっています。

体育大会について

平成28年5月13日（金）に札幌市東区のスポーツ交流施設「つどいむ」にて体育大会を開催しました。

第3回となる今回は、学生が運営する学友会と体育大会実行委員が中心となり、企画と当日の運営を行いました。チームは全学年合同で8チームが編成され、玉入れ、障害物競争、綱引き、チーム対抗リレーの各競技に汗を流しました。学年を越えた仲間と協力し合い楽しい時間を過ごすなかで、大いに親睦と団結を深めることができたようです。



オープンキャンパスについて

平成28年度のオープンキャンパスは、6月～10月にかけて看護学科が4回、栄養学科は3回実施。また平成29年3月27日（月）には両学科合同で開催しました。

全体概要説明に始まり入試説明や体験演習、学食体験など様々なプログラムを用意しましたが、なかでもランチタイムでの先輩とのトークが好評でした。本学学生がスタッフとして参加しており、参加者の方からは「先輩とのトークがすごく楽しかった」、「先輩の話がとても参考になりました」といった感想をいただいております。

平成29年度は看護学科と栄養学科のオープンキャンパスを毎回同時開催とし、両学科の特色や本学の魅力を体感していただけるプログラムを企画する予定です。



クラブ活動報告

本学では、人間力のある医療人の育成をめざしており、クラブ活動は学生たちの人間形成の成長に大きな役割を担っていると考えています。学生たちの自主的な活動により、開学5年目で現在、体育系6団体、文化系5団体の同好会・愛好会が活動しています。栄養学科1期生を迎え、更に活発な活動が期待されます。



バレーボール

代表 梶 秀法
部員数 ♂15 ♀29
活動日 週1回

私たちバレーボールサークルは、「みんなで仲良く安全に」をモットーに週に1回程度体育館で活動しています。部員は現在男子15名、女子29名で活動しています。主な活動内容としては、試合形式での練習です。チームは学年・性別関係なく分けている為、先輩との交流の場ともなっています。週に1回の活動なので、他のサークルと掛け持ちや勉強とも両立出来ます。面白い部員もいて笑いが絶えません。

少しでも興味のある方は、一度遊びにきて下さい！経験者はもちろん、初心者も大歓迎です！

私たちと一緒に大学生活をバレーボールで楽しみましょう！！



バスケットボール

代表 藤原 汐音
部員数 ♂5 ♀11
活動日 週1回

私たちは、週に1回男女混合でバスケットボールをしています。経験者もありますが、初心者やブランクがある人など様々です。主にゲームをやっている、高校までの体育授業のように楽しくゆるく活動しています。

参加は基本自由参加なので、バイトや勉強との両立や他サークル等との掛け持ちも可能です。

先輩、後輩、男女ともに仲良くおもしろい先輩も多いので笑いが絶えません！本当に楽しくて私自身サークルが学生生活の楽しみの1つになっています。活動日は見学可能なので一度体育館に遊びに来てください！



フットサル

代表 伊藤 聖
部員数 50
活動日 週1回

みなさん、こんにちは。フットサルサークルです。

我々は週に1度、体育館に集まり活動を行っています。活動内容は、男子vs男子、女子vs女子のゲームを交互に行い、点数を競い合います。チームは縦割りで、学年の枠を越えた素敵な交流をすることができます。所属部員には多くの未経験者がいるので、今までにサッカーの経験が無い人はもちろんのこと、運動部では無かった人も楽しめるサークルだと私は感じています。

です。運動をやってこなかったし苦手だけどやってみたい、今までやって来たから大学でも続けたいなど、どんな人でも大歓迎です。ぜひ1度、体育館に足を運んでみてください。お待ちしております！！



テニス

代表 松原 心
部員数 ♂4 ♀16
活動日 週1回

テニスサークルは少人数でアットホームな雰囲気のサークルです。普段は学校の体育館で、夏には札幌市内の屋外テニスコートで練習しています。メンバーは今のところ経験者のほうが多いですが、毎回基礎練習を中心に行なっているため、初心者でもテニスを楽しむことができます！自分の目標に向けて練習することができて、昨年は大会に出場したメンバーもいます！

練習以外にも、新歓、大学祭での出店、夏にはBBQ、卒業シーズンには小旅行など、たくさんの楽しいイベントをみんなで企画してメンバー間の交流を深めています。

硬式・軟式共に経験者、初心者問わず大歓迎です！見学・体験はいつでも受け付けていますので、ぜひ気軽に遊びに来てください！



バドミントン

代表 谷原緒理会
部員数 ♂11 ♀22
活動日 週1回

私たちバドミントンサークルは、「楽しむ」をモットーに活動しています。バドミントン経験者より未経験者の方がたくさんいます。活動内容は、主にダブルス中心のゲームを行い、学年や男女関係なくペアを組みプレーをしています。そのため、先輩・後輩とも仲良くなることができ、学校生活で不安なことなどは相談し悩みの解決の手助けをしてくれます。

ラケットやシャトルはサークルの方で準備するので持っていない人でも心配しないで下さい！

バドミントンに興味がある方、少しでもやってみたい方は一度体育館に足を運んでみて下さい。一緒にバドミントンをしましょう！



▲ RICH



▼ 軽音

看護技術向上研究会の活動

代表 清水 彩恵 部員数 ♂6 ♀46 活動日 不定期

看護技術向上研究会では、看護師・栄養士の必須技術のスキル向上を目的として活動しています。学習した援助技術を大学祭やイベントで地域の方々に提供することを通じて、幅広い年代の方々との交流を行っています。昨年度の特に印象的な活動には、東区民センターで行った“健康づくりフェスティバル”があります。このイベントでは、脳のあらゆる部位を刺激する問いを参加型のクイズ形式で楽しんでもいただきました。日々の生活で少し気を遣ってみると良いちょっとした健

康のアドバイスも行いました。参加者が楽しそうに反応してくださるので、私たち自身も楽しく、良い学びになりました。

このように看護技術向上研究会では、地域住民との交流に重きを置いて活動しているため、援助技術のスキルアップのみならずコミュニケーション力の向上も見込めるでしょ

う！学科問わず多くの方の入部をお待ちしております！！大学祭等で、ぜひ看護技術向上研究会に足をお運びください😊



看護学科1期生の国家試験結果と就職状況

第1期生国家試験結果



第106回看護師国家試験は、

本学から97名が受験し94名が合格しました。

本学合格率
96.9%

新卒全国平均94.3%

第103回保健師国家試験は、

本学から16名が受験し16名が合格しました。

本学合格率
100%

新卒全国平均94.5%

卒業生の就職先

看護師

〔札幌市内〕 札幌医科大学附属病院・市立札幌病院・KKR札幌医療センター・斗南病院・札幌厚生病院・札幌徳洲会病院・北海道がんセンター・JCHO北海道病院・札幌山の上病院・札幌深仁会リハビリテーション病院・札幌西岡山病院・手稲深仁会病院・五稜会病院・札幌東徳洲会病院・北祐会神経内科病院・北海道勤労者医療協会・愛心メモリアル病院・恵佑会病院・北海道大野記念病院・三草会クラーク病院・札幌禎心会病院・札幌北楡病院・北海道恵愛会札幌南1条病院・北光記念病院・湘南美容外科クリニック

〔北海道内〕 旭川医科大学病院（旭川市）・江別市立病院（江別市）・帯広病院（帯広市）・帯広厚生病院（帯広市）・函館病院（函館市）・函館新都市病院（函館市）・網走厚生病院（網走市）

〔北海道外〕 杏林大学医学部附属病院（東京都）・日本医科大学病院（東京都）・順天堂大学医学部附属順天堂医院（東京都）・順天堂大学医学部附属浦安

病院（千葉県）・東京北医療センター（東京都）・日本赤十字社武蔵野赤十字病院（東京都）・総合母子保健センター愛育病院（東京都）・がん研究会有明病院（東京都）・東邦大学医療センター大森病院（東京都）・東京歯科大学市川総合病院（東京都）・千葉大学医学部附属病院（千葉県）・日本赤十字社成田赤十字病院（千葉県）・石心会埼玉石心会病院（埼玉県）・新百合ヶ丘総合病院（神奈川県）・神戸市民病院機構（兵庫県）

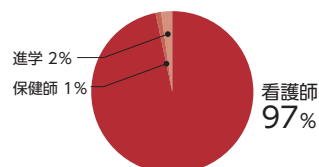
保健師

〔北海道内〕 仁木町

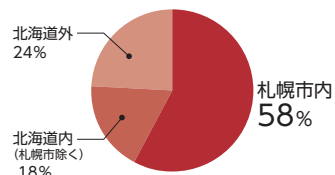
進学

〔札幌市内〕 天使大学大学院

卒業生の職種等別進路（2016年）



卒業生の地域別進路（2016年）



平成29年度 入試結果報告

入試形態別志願者・受験者・合格者・入学者数

入試区分		学科	募集人数	平成29年度				
				志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
推薦入試	公募制	看護	45	29	29	27	27	1.1
	指定校			13	13	13	13	1.0
	公募制	栄養	35	4	4	4	4	1.0
	指定校			5	5	5	5	1.0
	特別			9	9	9	9	1.0
小計			80	60	60	58	58	1.0
一般前期		看護	43	203	191	133	57	1.4
		栄養	35	24	24	24	4	1.0
		小計	78	227	215	157	61	1.4
一般後期		看護	5	16	13	3	3	4.3
		栄養	5	1	1	1	0	1.0
		小計	10	17	14	4	3	3.5
センター利用前期		看護	7	57	55	40	6	1.4
		栄養	5	20	20	19	4	1.1
		小計	12	77	75	59	10	1.3
総計			180	381	364	278	132	1.3

年間行事

4月	入学式／新入生歓迎会
5月	開学記念日／体育大会／3、4年次臨地実習開始
6月	第1回オープンキャンパス
7月	1年次看護基礎実習Ⅰ
8月	第2、3回オープンキャンパス／前期定期試験
9月	
10月	大学祭／第4回オープンキャンパス
11月	グロリアアップ・セレモニー／2年次看護基礎実習Ⅱ
12月	
1月	
2月	後期定期試験
3月	学位記授与式／第5回オープンキャンパス

編集後記



2013年の開学後、この3月で完成年度を迎え、「WILL」も第4号を発行する運びとなりました。そして、紙面にも掲載されておりますように初の卒業生を送りました。さらに、栄養学科が新設され、学部の名称も看護学部から保健医療学部へと変更され、4月に看護学科第5期生106名、栄養学科第1期生26名を迎えま

した。このような変化の中、これまでと変わらずに、教職員一同、将来、専門職者として社会に貢献できるような人材の育成に努める所存です。

本誌の発行は年1回ではありますが、特に保護者の皆様には、多少なりとも大学全体の様子を知っていただく一助になれば幸いです。今後も学生たちの大学での様子をお伝えしていきたいと思っておりますので、ますますの応援をよろしくお願い致します。

入試・広報委員編集担当